



2021年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年7月9日

上場会社名 ヤマト インターナショナル株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8127 URL http://www.yamatointr.co.jp/
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 盤若 智基
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員IR経営企画室長 (氏名) 川島 祐二 TEL 03-5493-5629
 四半期報告書提出予定日 2021年7月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年8月期第3四半期の連結業績（2020年9月1日～2021年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期第3四半期	10,512	△2.8	△77	—	221	—	170	—
2020年8月期第3四半期	10,814	△17.2	△520	—	△465	—	△743	—

(注) 包括利益 2021年8月期第3四半期 361百万円 (—%) 2020年8月期第3四半期 △789百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年8月期第3四半期	8.29	—
2020年8月期第3四半期	△36.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年8月期第3四半期	21,474	16,037	74.7	780.51
2020年8月期	20,917	15,799	75.5	768.93

(参考) 自己資本 2021年8月期第3四半期 16,037百万円 2020年8月期 15,799百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年8月期	—	6.00	—	6.00	12.00
2021年8月期	—	0.00	—	—	—
2021年8月期（予想）	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年8月期の連結業績予想（2020年9月1日～2021年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,300	0.3	△190	—	90	—	50	—	2.43

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年8月期3Q	21,302,936株	2020年8月期	21,302,936株
② 期末自己株式数	2021年8月期3Q	755,826株	2020年8月期	755,453株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年8月期3Q	20,547,321株	2020年8月期3Q	20,547,949株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による経済活動の制限や個人消費の低迷が長期化し企業収益が悪化する等、依然として厳しい状況で推移いたしました。ワクチン接種の広がりによる沈静化が期待されておりますが、新型コロナウイルス感染症の収束時期は依然として見通せず、先行き不透明な状況となっております。

一方、当アパレル・ファッション業界におきましては、消費税による根強い節約志向に加え、3度目の緊急事態宣言発出に伴う人々の外出自粛や商業施設の臨時休業等の影響が長期化しており、極めて厳しい状況が続いております。

このような経営環境の中、当社グループは、現コロナ禍を切り抜け継続的に利益を残せる企業へ向けた事業構造の転換を図り「ものを創り 人を創り お客様と共に心豊かな毎日を創る」という不変のミッションのもと、3年後のあるべき姿を目指し、中期ビジョン「Yamato2023」を始動しております。大きな転換期を迎えた人々のライフスタイルや価値観が様変わりする中で、いつの時代でもお客様に求められ続ける真のブランド創りを目指してまいります。

基幹事業である「クロコダイル」は、1963年の発売開始以来、半世紀以上にわたり愛され続ける当社のオリジナルブランドです。ライフスタイルテーマ「クロコダイルTrad2020」のもと、改めて原点である顧客起点に立ち返り、ブランドコンセプトに基づいた既顧客の満足度向上と活性化に繋がる商品の強みや付加価値を戦略的に構築し、また潜在顧客が興味を持ち共感できる新しいスタイルを提案してまいります。更に商品・店舗・コミュニケーション等すべてにおいて一貫性を保ち提供することで、お客様のブランドに対する認知・認識を深め顧客を獲得し、事業の持続的な成長を目指してまいります。

新規事業である「CITERA（シテラ）」は、“アクティブ・トランスファー・ウェア”をテーマに、スタンダードなスタイルにテクノロジーを用いた素材や機能を持たせ、都市内 都市間の移動を「より快適」で「よりスマート」にするフリクションレスで利便性の高い商品開発に注力するとともに、新しいファンクションやサービスへの投資を積極的に行うことで、更なる売上拡大を目指しております。また、米国発アウトドアファッションブランド「Penfield（ペンフィールド）」と、日本国内における商標権を取得したハワイ発カジュアルサーフブランド「Lightning Bolt（ライトニングボルト）」はブランド認知度と価値向上に注力し、ライセンス事業の拡大を目指してまいります。

一方、当社グループの物流業務を請負う子会社ヤマト ファッションサービス株式会社は、在庫管理や入出荷業務の精度向上に努めるとともに、新たに導入した自動ソーターが本格稼働する等、積極的な投資を行うことで更なる業務の生産性向上を図っております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における経営成績は、新型コロナウイルス感染症による影響を受け、売上が105億1千2百万円（前年同期比2.8%減）と減収になりました。利益面では売上総利益率は45.9%（前年同期比で2.6ポイント増）となり、販売費及び一般管理費については49億6百万円（前年同期比5.8%減）、営業損失は7千7百万円（前年同期は営業損失5億2千万円）、経常利益は2億2千1百万円（前年同期は経常損失4億6千5百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億7千万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失7億4千3百万円）となりました。

セグメントごとの売上高では、繊維製品製造販売業102億7千8百万円（前年同期比2.8%減）、不動産賃貸事業2億3千3百万円（前年同期比0.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は95億8千万円となり、前連結会計年度末と比べ4億8千5百万円増加いたしました。主な要因は、受取手形及び売掛金が1億3千8百万円増加し、商品及び製品が4億1千4百万円増加したこと等によるものであります。なお、現金及び預金と有価証券を合わせた手元流動性資金は53億3千4百万円からほぼ増減なく53億3千4百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は118億9千3百万円となり、前連結会計年度末と比べ7千1百万円増加いたしました。主な要因は、有形固定資産が7千6百万円減少し、投資有価証券が1億7千5百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は214億7千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億5千6百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は44億7千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億6千5百万円増加いたしました。主な要因は、電子記録債務が4億1千9百万円増加したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は9億6千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億

4千5百万円減少いたしました。主な要因は、長期借入金が2億円減少し、繰延税金負債が6千1百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は54億3千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億1千9百万円増加いたしました。
(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は160億3千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億3千7百万円増加いたしました。主な要因は、その他有価証券評価差額金が2億3百万円増加したこと等によるものであります。

これらの結果、自己資本比率は74.7%（前連結会計年度末は75.5%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年8月期の連結業績予想については、2021年3月19日に公表いたしました内容に変更はございません。

(なお、業績予想については、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。)

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,334,347	4,334,402
受取手形及び売掛金	1,249,899	1,387,913
有価証券	999,998	999,998
商品及び製品	2,292,237	2,706,428
仕掛品	92	—
その他	220,571	153,977
貸倒引当金	△1,804	△1,887
流動資産合計	9,095,343	9,580,832
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,311,825	1,275,257
機械装置及び運搬具(純額)	148,365	129,382
土地	5,179,068	5,179,068
リース資産(純額)	26,418	23,848
その他(純額)	82,569	64,598
有形固定資産合計	6,748,248	6,672,155
無形固定資産		
25,626		20,661
投資その他の資産		
投資有価証券	4,680,119	4,855,654
差入保証金	66,829	75,404
退職給付に係る資産	201,864	200,822
繰延税金資産	11,952	2,375
その他	115,377	94,210
貸倒引当金	△27,671	△27,671
投資その他の資産合計	5,048,472	5,200,796
固定資産合計	11,822,346	11,893,612
資産合計	20,917,690	21,474,445

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	479,729	451,828
電子記録債務	2,586,612	3,005,648
1年内返済予定の長期借入金	167,372	236,876
未払法人税等	1,657	21,743
賞与引当金	78,693	—
返品調整引当金	9,000	11,000
ポイント引当金	5,597	6,407
店舗閉鎖損失引当金	21,251	9,878
その他	660,432	732,048
流動負債合計	4,010,345	4,475,429
固定負債		
長期借入金	618,213	418,180
資産除去債務	33,669	38,915
繰延税金負債	209,000	270,874
その他	246,900	233,849
固定負債合計	1,107,783	961,819
負債合計	5,118,128	5,437,249
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,917,652	4,917,652
資本剰余金	4,988,692	4,988,692
利益剰余金	5,856,433	5,903,461
自己株式	△363,733	△363,860
株主資本合計	15,399,044	15,445,946
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	380,498	583,731
繰延ヘッジ損益	△1,616	879
退職給付に係る調整累計額	21,634	6,638
その他の包括利益累計額合計	400,516	591,249
純資産合計	15,799,561	16,037,196
負債純資産合計	20,917,690	21,474,445

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)
売上高	10,814,742	10,512,071
売上原価	6,132,541	5,680,216
売上総利益	4,682,201	4,831,854
返品調整引当金戻入額	13,000	9,000
返品調整引当金繰入額	8,000	11,000
差引売上総利益	4,687,201	4,829,854
販売費及び一般管理費	5,207,250	4,906,896
営業損失(△)	△520,049	△77,041
営業外収益		
受取利息	12,700	21,207
受取配当金	26,551	24,250
雇用調整助成金	—	232,962
その他	20,348	24,722
営業外収益合計	59,599	303,142
営業外費用		
支払利息	5,074	3,993
その他	438	898
営業外費用合計	5,512	4,891
経常利益又は経常損失(△)	△465,962	221,209
特別損失		
固定資産除却損	4,178	4,648
投資有価証券評価損	2,541	40
特別損失合計	6,720	4,689
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△472,682	216,520
法人税、住民税及び事業税	28,957	29,055
法人税等調整額	242,153	17,151
法人税等合計	271,110	46,207
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△743,793	170,313
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△743,793	170,313

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△743,793	170,313
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△37,752	203,233
繰延ヘッジ損益	5,515	2,495
退職給付に係る調整額	△13,107	△14,996
その他の包括利益合計	△45,345	190,732
四半期包括利益	△789,138	361,045
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△789,138	361,045
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定に重要な変更はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	繊維製品製造販売業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,579,507	235,235	10,814,742	—	10,814,742
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,579,507	235,235	10,814,742	—	10,814,742
セグメント利益又は損失 (△)	△105,890	126,828	20,937	△540,987	△520,049

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額△540,987千円は、各報告セグメントに配分していない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	繊維製品製造販売業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,278,911	233,160	10,512,071	—	10,512,071
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,278,911	233,160	10,512,071	—	10,512,071
セグメント利益	266,996	128,885	395,881	△472,923	△77,041

(注)1. セグメント利益の調整額△472,923千円は、各報告セグメントに配分していない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。